

10年の歩みを振り返る

高次脳機能障害 記念の催し盛り上がる 家族と支援者の会

南房総



朗読劇を披露するメンバーら＝南房総

南房総高次脳機能障害 家族と支援者の会(石黒 裕美会長)の創立10周年を記念したイベントが、20日(土)午後2時から、南房総市のコミュニティセンターで開かれた。当日は、高次脳機能障害者や家族、支援者ら約120人が参加し、朗読劇などを通じて、10年の歩みを振り返った。

高次脳機能障害は、頭部のけがや病気などによって、記憶障害、集中力や注意力の低下が生じる障害。外見からは分かりにくい脳の障害のため、日常生活や社会活動で困難を抱える人が多くいる。

同会は、南房総地域で生活している障害者や家族、支援者らが集まり、互いに支えあっている。2007年4月に発足した。当初は、南房総市と連携して、障害者への理解を深め、支援の体制を整えることを目指していた。

人気のシクラメンに列

安房和歌 即売会にたくさんのお客が訪れた。シクラメンの展示が人気で、会場は大混雑した。毎年、春と秋の開催がある。今年も、秋の展示が好評で、多くの人が購入した。



天候に恵まれた当日、朝早くから人が集まり始める。シクラメンの展示が人気で、会場は大混雑した。

館山 東京五輪・パラリンピックの使用まで、父の力を借りて、会場は大混雑した。

からつくる「みんなの笑顔プロジェクト」で、会場は大混雑した。

会場は大混雑した。会場は大混雑した。

「高次脳機能障害者」の10周年を記念したイベントが、20日(土)午後2時から、南房総市のコミュニティセンターで開かれた。当日は、高次脳機能障害者や家族、支援者ら約120人が参加し、朗読劇などを通じて、10年の歩みを振り返った。

高次脳機能障害者や家族、支援者ら約120人が参加し、朗読劇などを通じて、10年の歩みを振り返った。

会場は大混雑した。会場は大混雑した。